

環境経営レポート

2023 年度（第 18 期）

（2022 年 12 月 1 日～2023 年 11 月 30 日）

作成日 2024 年 5 月 17 日



良い環境で *New Packaging*



ニッコンホールディングスグループ

株式会社 **エムピー**

住所 長野県千曲市大字上徳間 739-1

発行責任者 舌間 正規

連絡先 Tel 026-276-4080 fax 026-276-4033

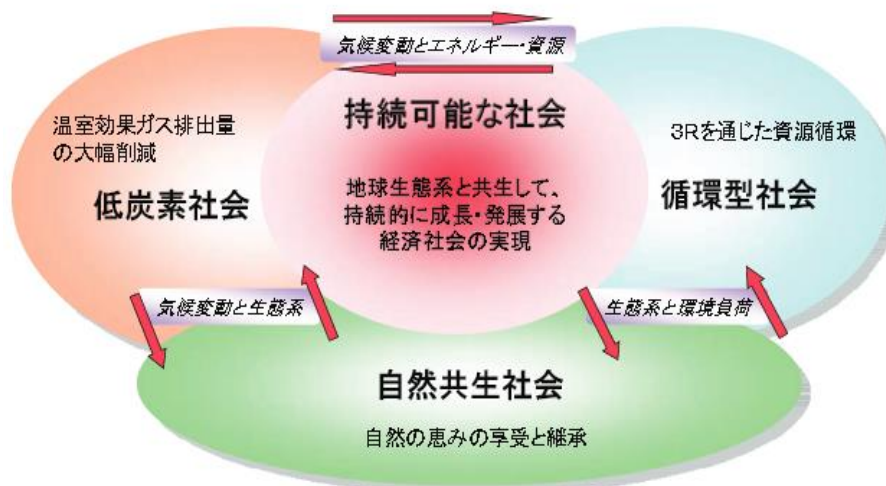
e-mail info@mp-package.co.jp

目 次

1. 組織の概要
2. 事業規模
3. 建物施設配置図
4. マテリアルバランス
5. 二酸化炭素排出量
6. 環境経営方針
7. 環境経営目標達成の実施体制
8. 環境経営目標の設定、その実績と評価 当年予測値と次年度
9. 環境経営目標・計画の評価と次年度環境経営への取り組み計画
10. 主な環境関連法規の順守状況の評価、ならびに違反、訴訟の有無
11. 環境上の緊急事態の想定及び訓練記録
12. 社内コミュニケーション
13. 環境に関する外部からの苦情の受付・処置、問題点の是正処置、予防処置
14. 代表者による全体の見直し、指示
15. 長野県 SDGs推進企業に登録されました

持続可能な社会を目指しています（環境保全活動）

図：持続可能な社会に向けた取組（統合的取組の展開）



（出典）21世紀環境立国戦略（平成19年6月1日閣議決定）

株式会社 エムピー 会社案内

事業内容と特色

当社は商品の保護と安全輸送のために、大きな役割を果たしているパッケージの専門メーカーです。

ひとくちにパッケージといっても、多様な商品が次々と生み出される現代にあつては、デザインも形状も実に様々。その品質によっては商品そのものに大きな影響を与えることもあります。

当社は専門メーカーとしてあらゆる商品のパッケージの生産はもちろんのこと商品の特殊性を考慮し、輸送時の安全性、梱包時の効率や機能性など お客様のニーズに合せた提案・設計を行なっております。

小規模企業ながら、パッケージングに関するノウハウという貴重な財産を持ち、将来に向けて積極的な展開を図っています。



会社概要

創 立	1986 年（昭和 61）12 月 創立
代表者	舌間正規
資本金	1,000 万円
事業内容	ダンボール製品の加工 及び 販売
主な取引先	ミヤリサン製薬(株)、(株)カクイチ製作所、 壽高原食品(株)、日置電機(株)、
従業員数	20 名（男 12 名 女 7 名）
主な設備	プラムミューズスーパープリンタスロ ッター一貫ライン、オートプレス、 スチームボイラー
勤務時間	8 時 25 分～17 時 25 分
休日休暇	土日、祭日 盆休み、年末年始休み
福利厚生	各種社会保険、団体生命保険、 団体傷害保険、退職金制度、 各種共済、社員研修旅行など
認証取得	2004 年（平成 16） ISO9001 2006 年（平成 18）エコアクション 21 2021 年（令和 3）長野県 SDDs 推進企業



トップからのメッセージ 代表取締役：舌間正規

「良い仕事を真面目にする。」

1986 年の創業以来、社員と共に育んできた精神です。

地域社会の皆様を支えられ、持てる技術を駆使して、高品質で工夫とアイデアを凝らしながら、お客様に喜んで頂ける製品を設計し製造、販売をしております。

2023 年 12 月、ニッコンホールディングスグループの一員となり、これまでつちかった精神を大切に、努力と研鑽を重ね、さらなる飛躍を目指しております。

1. 組織の概要

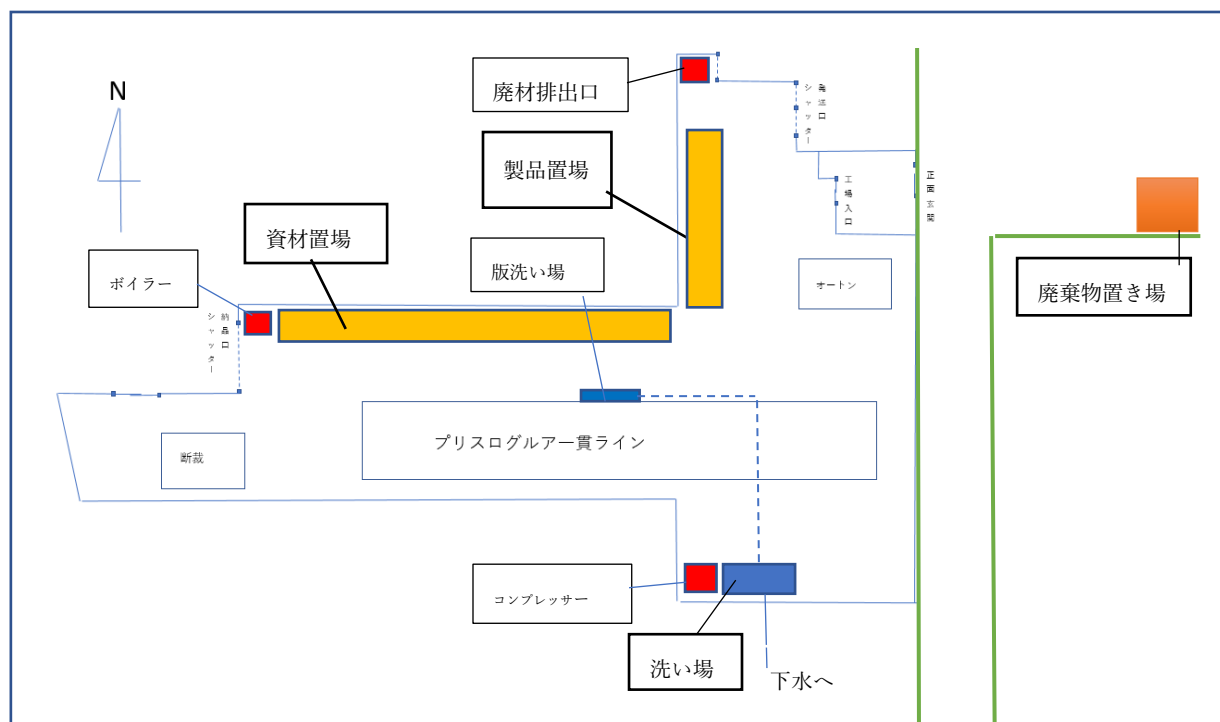
事業所名	株式会社 エムピー
代表者名	代表取締役社長 舌間 正規
事業所の所在地	〒389-0805 長野県千曲市大字上徳間 739-1
事業内容	ダンボール製品の製造及び販売
設立、資本金	1986.12 設立 資本金 1,000 万円
エコアクション 21	対象範囲 全組織、全活動 管理責任者 山口 茂明（取締役 営業部長） 連絡先 Tel 026-276-4080（代） Fax 026-276-4033 e-mail info@mp-package.co.jp

2. 事業規模

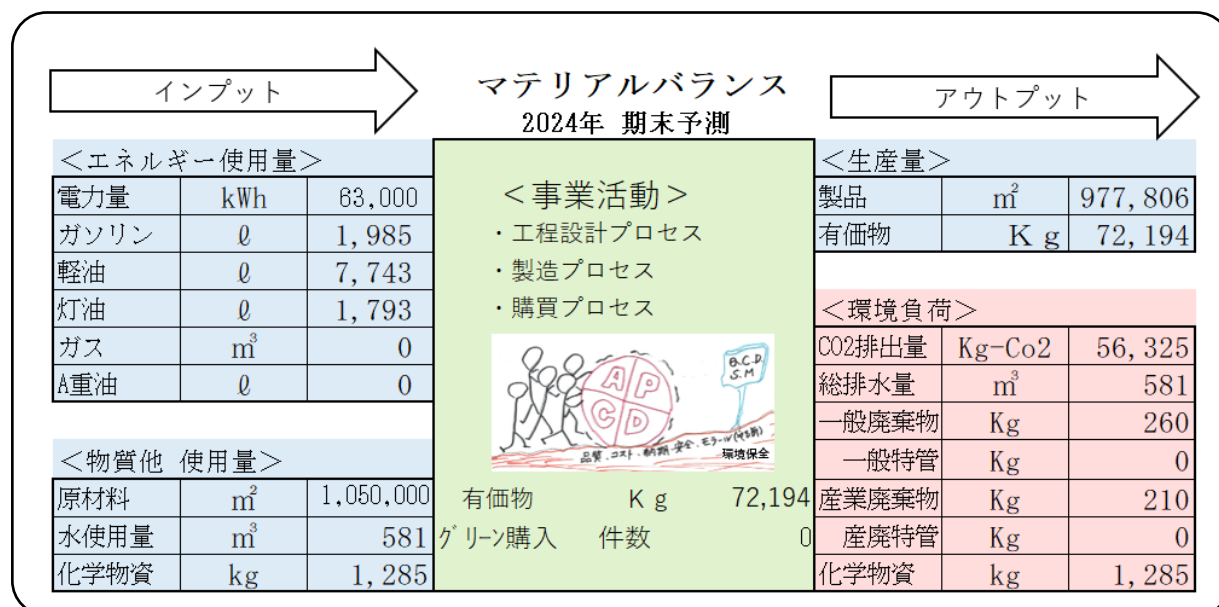
		基準年	前年	当年予測
		2016年	2023年	2024年
売上高	円	203,137,022	222,671,077	240,369,000
生産高	m ²	1,271,476	960,658	1,050,000
人員	人員	17	17	18
人員は工数換算			2022/12~2023/11	2023/12~2024/11

●人員は工数換算によりフルタイムを1人、パートタイムを0.8人で計算。小数点以下は切り上げとする。

3. 建物施設配置図



4. マテリアルバランス



5.二酸化炭素排出量

<二酸化炭素排出量>		※中部電力 2022年度 0.433 kg/kWh					
		前年 2023年			当年予測 2024年		
		前年実績	CO2(Kg-Co2)	構成比%	当年予測	CO2(Kg-Co2)	構成比%
CO2排出量	Kg-Co2	-	56,459	100.0%	-	56,325	100.0%
CO2/売上高	Kg-Co2	-	254	-	-	321	-
<内訳>							
電力量	kWh	66,178	28,655	50.8%	63,000	27,279	48.4%
ガソリン	ℓ	2,072	4,806	8.5%	1,985	4,605	8.2%
軽油	ℓ	7,532	19,432	34.4%	7,743	19,977	35.5%
灯油	ℓ	1,432	3,566	6.3%	1,793	4,465	7.9%
ガス	m ³	0	0	0.0%	0	0	0.0%
A重油	ℓ	0	0	0.0%	0	0	0.0%

6. 環境経営方針

環境経営方針

株式会社エムピーは、健全な事業活動を通じた「地球環境の保全と維持」を社会的責任と考え、「2050年カーボンニュートラル」の実現に向け、継続的に環境保全活動に取り組めます。

記

1. 環境負荷低減および環境汚染防止、生物多様性への配慮を行い、持続可能な社会インフラの構築に貢献します。
2. 製造の効率化や再生可能エネルギーへの転換、環境配慮型設備の導入などにより脱炭素社会の実現に向けて、より環境負荷の少ないサービスを提供します。
3. 持続可能な循環型社会の実現に向け、循環物流サービス事業の拡大を図ることで、限りある資源を有効に活用し、再資源化を積極的に推進します。
4. 環境に関する取り組みについて、あらゆるステークホルダーに対する情報開示を充実させます。

2005年12月 1日 制定

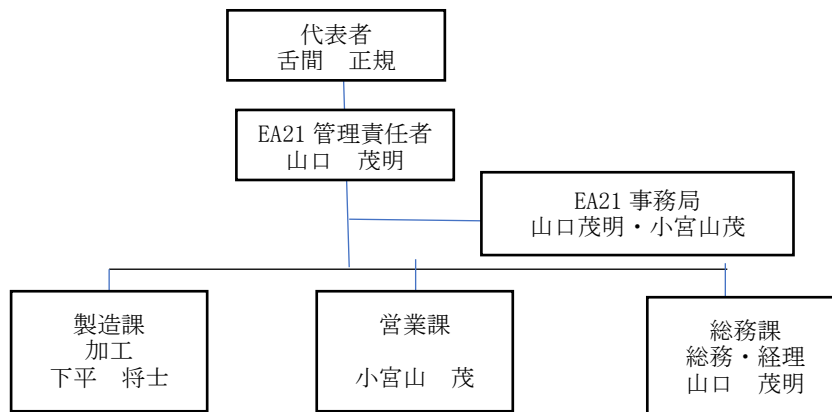
2024年 5月 1日 改訂

株式会社 エムピー

代表取締役社長 舌間正規

7. 環境経営目標達成の実施体制

エコアクション21（EA21）環境活動の実施体制



EA21 組織の役割と権限

代表者	環境マネジメントシステムの最高責任者 ・ 環境経営方針の策定 ・ EA21 運用に必要な経営資源（人、資金、機器設備）の提供 ・ 環境経営レポートの承認 ・ EA21 全体の有効性の評価、見直し、改善の指示
環境管理責任者	環境経営マネジメントシステムの構築、運用、見直し ・ EA21 の手順の確立、環境経営レポートの策定、 ・ 環境への負荷と取組状況の把握と評価 ・ 環境経営目標、環境経営計画の取りまとめ、代表者へ実施状況の報告 ・ 緊急事態の想定と訓練、環境関連法規の特定と遵守、環境教育の計画と実施 ・ 外部からの苦情受付、ISO 事務局の統括
部門責任者	環境方針の周知 ・ 環境経営目標を達成するための環境経営計画の策定と評価（PDCA） ・ 職場のチームワークによる環境負荷の低減、生産性向上の改善活動の指揮
全従業員	環境経営方針の理解と地域に迷惑をかけない（環境保全）自律的行動 ・ よい会社をつくるために、環境負荷低減と生産性向上に積極的に参加する

8. 環境経営目標の設定、その実績と評価 当年予測値と次年度

評価 ○100%達成、△95%達成、×95%以下 【2023年12月1日～2024年11月30日】

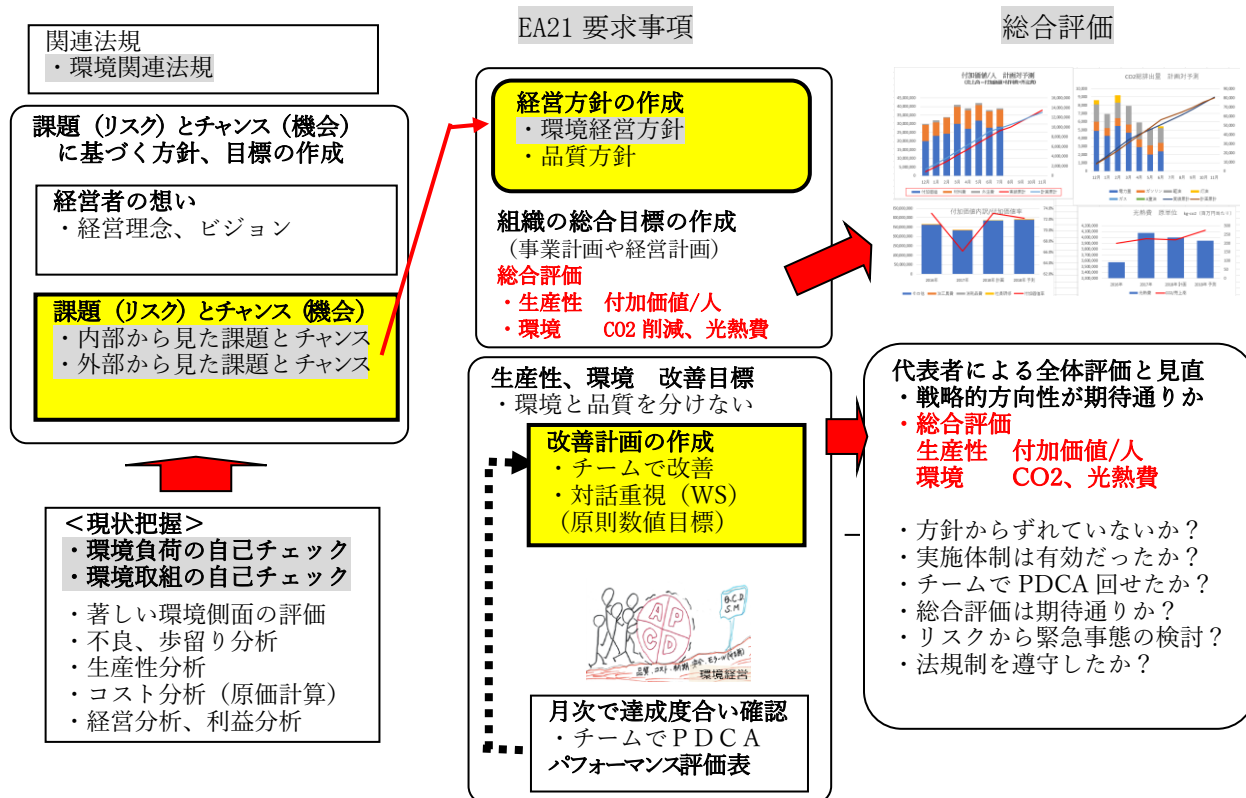
環境経営（環境評価）		基準年実績	前年目標	前年実績	目標対比	当年目標	当年予測	目標対比	次年度目標
項目	単位	2016年	2023年	2023年	予測評価	2024年	2024年	予測評価	2025年
CO2排出量	Kg-Co2	67,283	67,000	56,459	○	53,000	56,325	×	53,000
CO2/売上高	Kg-Co2	331	323	254	○	306	321	△	300
光熱費	円	3,582,860	3,500,000	3,571,077	△	3,500,000	2,489,383	○	3,500,000
電力量	kWh	81,555	78,000	66,178	○	66,000	63,000	○	85,000
ガソリン	ℓ	4,528	4,500	2,072	○	2,000	1,985	○	4,500
軽油	ℓ	8,078	8,000	7,532	○	7,500	7,743	△	9,000
灯油	ℓ		880	1,432	×	1,400	1,793	×	880
総排水量	m³	228	1,000	883	○	800	581	○	500
一般廃棄物	Kg	380	500	260	○	200	200	△	800
産業廃棄物	Kg	170	210	210	○	200	200	△	3,500

※CO2 排出係数 中部電力 2022 年度 0.433

- 全電球 LED 化を促進中
- 2014 年太陽光パネル設置
- 省エネ型エアコンに切り替え
- 社有車のハイブリッド車の導入
- フォークリフトのバッテリー車を使用



「よい会社」を目指した目標管理の進め方



9. 環境経営目標・計画の評価と次年度環境経営への取組計画

評価基準 ○100%達成 △95%達成 ✕95%以下

分類	環境目標項目	前年度 経営環境への取組の活動			当年度環境への取組の計画	
		2022 年 12 月～2023 年 11 月			2023 年 12 月～2024 年 11 月	
		評価	当年度計画	評価コメント	次年度計画	担当
二酸化炭素削減	総 CO2 排出量	○	電力量の削減を重点的に対策	前年 58647KG-CO2 より 8.8 ポイント減	電量中心にこまめな省エネ活動	全員
	原単位（売上費）	○	電力量の削減を重点的に対策	昨年比生産量はほぼ同じだが売上高 100 万円あたり 267 から 240 に改善	電量中心にこまめな省エネ活動	全員
	1) 電力削減	○	・こまめな省エネ ・蛍光灯を交換時 LED 化 ・設備の効率（メンテナンス） ・エアコン冬 25℃、夏 27 度 ・昼休み消灯	・生産量が基準年より減少しているが、照明、エアコン温度設定の徹底 ・コンプレッサーのエア漏れ等のチェック。ホースや器具の交換。	・全照明 LED 化	全員
					・チョコ停対策	全員
					エアコン 事務：夏 27℃ 冬 23℃、工場：夏 27℃ 冬 26℃	水井 下平
	2) ガソリン	○	・エコドライブ ・配送ルートの効率化	・エコドライブ、配送効率化の意識が上がってきた	・ドライブレコーダーの導入で安全運転に心がけている	小宮山
	3) 軽油削減	○	・エコドライブ ・配送ルートの効率化	・エコドライブ、配送効率の意識が上がってきた	・ドライブレコーダーの導入で安全運転に心がけている	山岸
廃棄物削減	4) 灯油削減	✕	・加湿度ボイラーの運転時間	・運転条件の変更	灯油使用量の見える化	伊藤也
	5) 一般廃棄物削減	○	・両面コピーの徹底（表示） ・営業部のコピー最小限注意 ・3 R に注意する ・分別の徹底	・裏面コピーの徹底（製造計画表など社内文書は裏面コピーを使用するようにした）	・裏面コピー、両面コピーの徹底	伊藤志
	6) 産業廃棄物削減	△	・分別の徹底 ・3 R に注意する	・昨年・本年度も平均並みに	・産廃のゴミの分別	小宮山
その他環境負荷削減	7) 化学物質	○	・適正管理 ・インク、洗浄剤、糊	・今後とも推移を注視	・使用量の適正管理	下平
	8) 水使用量	○	・各自が節水に注意	・昨年より減少した	・各自節水に努める ・水道料削減	全員
	9) 端材、屑の有効活用	○	・パッキンや付属品への活用 ・メーカーでリサイクル	・ほぼ 100%リサイクルできている	・端材、屑の有効活用	小宮山
	10) グリーン購入	✕	・コストの兼ね合いから導入は努力目標とする。	・安価であれば切り替える。	・コストとの兼ね合いから努力目標とする（継続）	山口
環境負荷削減支援業務	11) 環境関連法令の遵守	○	・年 1 回最新情報の収集 ・遵守状況を評価する	・最新情報を確認したが問題なし	・環境関連法の整理確認 ・関係機関に確認	山口
	12) 環境教育	△	・朝礼等で EA21 の理解を深める ・月 1 回工場周辺掃除	・2 ヶ月に 1 度実施したが、担当者が資料作りに時間が取れなかった ・繁忙期工場周辺の清掃ができないときがあった	・3 月に 1 回環境教育	小宮山
					・月 1 回工場周辺清掃	小宮山
生産性向上	13) 緊急事態想定し対策訓練を行う	✕	・年 1 回緊急連絡網のテスト ・防火訓練を行う	・消防訓練・避難訓練ともに不実行	・年 1 回連絡網チェック ・年 1 回防火訓練	小宮山
	14) 生産量/人	△	・段取り時間短縮	・売上高増で増えた	・段取り時間短縮	小宮山
	15) 残業時間削減	○	・残業ゼロの推進	・残業はほぼ無かった	・段取りによる時間短縮 ・急な受注を防ぐ	山口
	14) クレームゼロ	△	・クレームの発生を防ぐ	・大幅に改善が見られるが更なる努力が必要	・改善策の徹底 ・技術の継承	下平
	14) 社内不良削減	△	・次工程におけるクレームを未然に防ぐ	・部門間で調整 ・作業指示書の明確化	・QC 工程表の見直し ・作業指示書の改良を進める	全員
	15) 光熱費削減	○	・電力使用の効果的な使用	・前年比 92%に抑えることができた	・節電に努める ・機械のメンテナンスを進めムダな労力を防ぐ	山口
	16) 工具費削減	○	・工具を大切に取扱い適切に使用する	・大きな部品交換やメンテナンスが無かった	・工具の手入れ、破損を防ぐ	全員

10. 主な環境関連法規の遵守状況の評価、並びに違反、訴訟の有無

遵守の評価 2024 年 5 月 13 日 承認者：舌間正規

環境関連法規	遵守事項	評価	責任者
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	・適正処理の徹底 ・契約書、マニフェスト、帳簿の記載、報告 ・許可変更時。更新時の適正処理 ・水銀に関する廃棄物の適正管理	○	小宮山
フロン排出抑制法	・フロン使用機器の点検、漏洩防止、点検記録の保持	○	下 平
下水道法	・インク洗浄の適正管理、記録及び異常時の報告	○	下 平
騒音規制法	・特定施設の届出	○	山 口
振動規制法	・特定施設の届出	○	山 口
消防法	・少量危険物の貯蔵届出	○	小宮山
省エネ法	・省エネの努力義務	○	全 員

※管理責任者による遵守状況の評価の結果、環境法規制等の逸脱はありません。地域及び当年の関係当局からの訴訟及び苦情及び過去 3 年間に渡って訴訟及び苦情はありません。

11. 環境上の緊急事態の想定及び訓練記録

緊急事態の想定	手順	訓練	訓練実施日	事故（いつ、状況、対応策の検証
緊急連絡網訓練	緊急連絡網図	不定期訓練		なし
避難訓練、消火訓練	緊急時避難経路図 消火訓練手順書	秋の防火週間に訓練	不実行	
灯油漏洩訓練	灯油漏洩訓練	不定期訓練		

12. 社内コミュニケーション

会議体	内容	いつ	責任者
幹部会議	●経営計画を達成する生産性、環境関連目標の設定 ●月次でパフォーマンス評価 ●生産性、環境負荷削減の評価と対応	月第 1 週	社長
全体会議	●経営理念、方針、目標、計画の周知	年 1 回	社長
朝礼	●日常的な情報交換、教育の機会	毎日	部長
代表者による見直し	●EA21 に基づく環境経営全体の有効性の評価 ●方針、目標、計画および実施体制についての評価 ●必要な方策の指示	10 月の幹部会議	社長

13.環境に関する外部からの苦情の受付・処置、問題点の是正処置、予防処置

問題点	是正処置及び予防処置	いつ	責任者
外部からの苦情なし	なし		
是正処置なし	なし		

14. 代表者による全体の評価と見直し、指示

2024 年 5 月 16 日 責任者 舌間正規

会議体	内容
総合評価 ・業績 ・環境保全 など	○昨年は照明やエアコンの ON・OFF をこまめに行い、エアコンの温度設定を管理した。これまでもコンプレッサーの空気漏れに注意、改善を進めたが、さらに進めたい。 ○工場のエアコンの省エネ化、全照明の LED 化を進める。 ○不良の削減等でムダを防ぐように努める。
方針に基づき活動ができたか	昨年度は基準年に比べ Co2 排出、光熱費を削減することができた。今年度も引き続き削減に努めるようにする
目標、計画の達成度は期待通りか	達成度は期待と異なる面もあるが単月毎の兼ね合いを注視していきたい。
実施状況 改善活動の状況	●2017 年以降で事業計画と直結しているか評価するために、組織の総合パフォーマンス評価として①付加価値/人（生産性評価）、②CO2/売上高（環境保全評価）を明確にした。 ●グリーン購入はコストUPのため当面凍結する。極力リサイクルマークの付いた商品（コピー用紙等）を購入、利用する。
次年度への取組	光熱費の圧縮。 在庫の圧縮。

指示事項

改善事項	何時まで	責任者	確認
（本年度）光熱費の高騰を踏まえ前年度と同じに抑える	2025 年 1 月	全社員	
社内起因による不良の削減（目標前年以下）	2025 年 1 月	社長 全社員	

15. 長野県 SDG s 推進企業に登録されました



長野県SDGs推進企業登録とは、SDGsと企業活動との関連について「気付き」を得るとともに、具体的なアクションを進める長野県独自の登録制度です。2021年10月29日、(株)エムピーも登録されました。

環境と共生していく経営を目指す弊社の理念は、SDGsの理念・目標と合致するものであり、環境経営(PDCA構造のマネジメントシステム)を通じ、SDGsの達成に貢献して参ります。





パッケージ製造で地域産業をバックアップ！
品質の高いパッケージをお客様のニーズに合わせてお届け。
地域産業の発展に貢献します。



廃材100%リサイクル！
段ボールの原料のほとんどは古紙の再生リサイクル。
製造で発生する廃材は100%、リサイクル業者を通じ新たな段ボールとして生まれ変わります。



環境にやさしい水性インク
使用するインクは水性インク。
環境に負荷の少ないインクを使用し、水質の保全に努めています。

SDGsについて

社員で勉強会を行い、理解を深めました。



株式会社 **エムピー** は段ボール製造を通じ
持続可能な未来へ 行動できる企業を目指し、取り組み続けます！